

OJT研修兼メンターチーム会

今回のOJT研修のテーマは「校内研修」についてでした。研究主任の酒井先生にご講話いただくにあたり、今年の新メンバーである初任者のお二人と講師のお二人に「どんなことを学びたいか」について予めチーム長の岩本先生から聞き取りがありました。その聞き取った内容にプラスして岩本先生から「このような内容も必要ではないか」という提案がありました。チームメンバーにとってどのようなことが必要かを考え研修内容を提案する姿勢、そして先生方の研修を受ける姿勢にも感心させられました。

<依頼内容>

- ・校内研修の目的
- ・校内研修の効果を上げるために各自がすべきこと
- ・若年教員の役割
- ・初任者が特に気を付けてやるべきこと



酒井先生からは、校内研修の目的の説明後、チームメンバーに向けて次のメッセージがありました。

- ・本校が何を目指しているのか「学校経営計画」の知・徳・体それぞれの目標や取組を確認すること
- ・各自が研究組織の中のどの部会に入っているか、その研究内容や目標を確認すること
- ・学力向上に向けた年間スケジュールを意識すること
- ・やると決めたことはやること（組織で実践していく。我流で取り組むことにより一番困るのは生徒）
- ・新しい発想や思ったことを憶せず提案すること（先輩教員も気付かなかったことに気付ける）

メンターチームでは**<自主的な取組>**として、今回のチーム会までにチーム内教員の授業参観と先輩教員の授業参観を行ってきました。それぞれが学んだこととして次のようなことが挙げられました。

- ・問題、めあて、まとめにつなげる発問の工夫
生徒とのやり取りの中でめあて等を引き出す。
発問に対する生徒の反応を何段階も予想しておく。
生徒の言葉を生かす。
- ・どのような力を付けたいのか、ゴールの姿の明確化
- ・生徒に成長していることを自覚化させる工夫
前の教材と現在学習中の教材を関連付けて考えさせる。
- ・日常生活と関わる題材の工夫
- ・生徒に任せて考えさせる工夫、思い切り（何を学ばせたいかを明確にもった上で）
- ・振り返りの工夫
今日の学びと、それをどう生かすかを考えさせる。



(*中村小学校で開催された「実践研究協働校事業 国語科教材研究会」での講師 齊藤一弥先生のご講話から学んだことを関連付けて話される先生もいました。)

最後に、校長先生から課題が与えられました。チーム会のメンバーだけでなく、みなさんもぜひ考えてみてください。

～「**発問**」と「**質問**」はどう違う？ / 「**力のある学校**」とはどんな学校？～

メンターチームでは引き続き、自主的な取組として授業を参観します。今回はメンバーで統一した視点を持って参観します。 <問題・めあてをどう引き出すか / まとめはどうつなげるか>
この視点について、引き続き、教科会での検討をよろしくお願いします。

